

建築主：松本清・松本作恵
 設計：桑原茂建築設計事務所
 施工：吉田工務店+松本家具
 所在地：いすみ市

日差しを有効に取り入れる 冬は日なた・夏は日かげ いつも日なた、いつも日かげの家

施主老夫婦が住まう平屋のこの住宅は「空調に頼らない優しい暮らし」を理念に計画された。年間を通して日差しを有効に利用するため、設計者は太陽の年間軌道を追跡し、室内の日差しをコントロール出来るよう屋根の大きさと角度を決定。徹底的に『屋根と床』の関係を見直した住宅である。

建物の構成はシンプル。平面は長方形で南側庭に面して縁側(屋外)、居室+収納部(屋内)となり、耐震構造の浴室部分でLDKと寝室を分節する。断面は収納仕切り壁を兼ねる板状垂直壁からL字に折れて水平耐力を支える梁で屋根を支えている。屋根の大きさと角度、庇の長さを入念にチェックして「冬は日なた・夏は日かげ」の家を実現した。縁側とLDKは連続し、テラス窓を開放すると縁側とLDKは一体となり、季節によって、その境界が曖昧だ。東西は閉ざされているため、庭～縁側～LDKは切り取られた世界となる。背面の収納は程良い奥行で、引戸を開けると一瞥でき使いやすい。

また施主は敷地の近くに家具製作所を併せ持ち、当住宅の家具や建具等の施工も担う。長い間培った技術を自らの住宅に活かし、今後網戸等足していく部分もあるという。竣工がスタートであり、これからの成長も楽しみな住宅である。

(藤本 香)



外観



内観

(撮影/鳥村 鋼一)

選考の基準

次の事項を選考の基準とし、総合的に審査します。

- デザイン性に優れていること
- 安全で快適な建築空間を創出していること
- 防災への配慮がなされていること
- その他、独自の取組や提案がなされていること
- まちなみや周辺の景観と調和がとれていること
- 環境負荷の低減に配慮していること
- 施工上優れていること

※建築基準法等の諸法令に適合しており、かつ近隣等との紛争が生じていないこと等も求められます。

千葉県建築文化賞検討会議

委員長 北原 理雄：千葉大学名誉教授

委員 圓崎 直之：一般社団法人千葉県建築士会会長

副委員長 岩村 和夫：東京都市大学名誉教授

委員 岡部 明子：東京大学大学院教授

委員 夏目 幸子：建築家、NPO住まい・まち研究会理事長

委員 藤本 香：建築士、千葉大学非常勤講師

【敬称略 委員は五十音順】

千葉県建築文化賞は、多くの皆様の協力に支えられ、回を重ねてまいりました。

その間、県下の広い地域にわたり、128の建築物が受賞され、それぞれの地域に根付いています。

第24回の作品募集は、平成29年夏頃行う予定です。

皆様方の御応募をお待ちしております



千葉県
 マスコットキャラクター
 チーバくん